



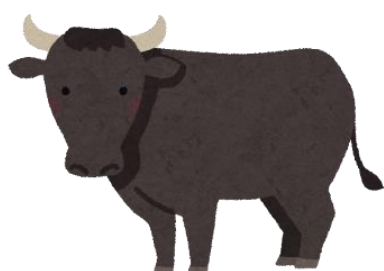
広島市食検だより

2023年10月 第75号

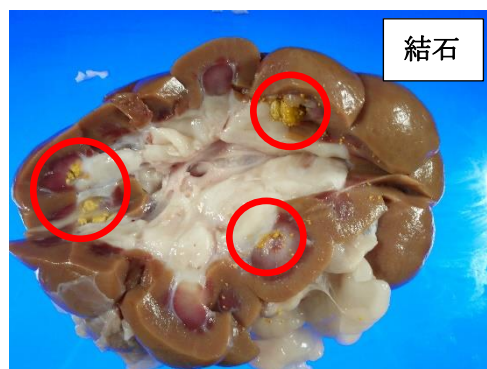


腎臓に石!?尿石症について

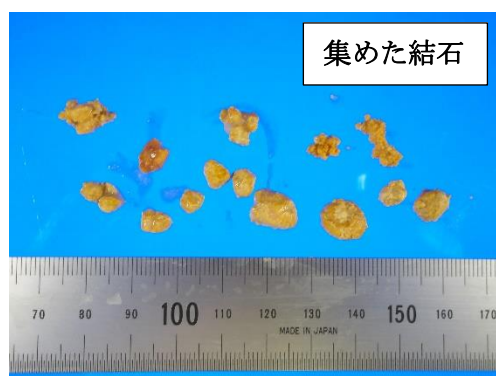
- ★ 尿石症とは、尿の成分が変化して腎臓などにできた石（結石）が、膀胱や尿道にたまり、様々な症状が現れる病気で、と畜検査では去勢した肉用牛に時々見られます。症状が進んで結石が尿道に詰まると、尿を出すことができずに老廃物が体内にたまって尿毒症となり、死亡することもあります。
- ★ 今回は実際にと畜検査で発見された腎臓の結石について紹介します。



解体すると…



結石



集めた結石

牛の尿石の主成分はリン酸アンモニウム
マグネシウムやリン酸マグネシウムです

- ★ 尿石症の原因として、飼料中のミネラルの偏り、ビタミン欠乏、気温が低下する冬季に飲水量が減少するなどがあります。
- ★ 食肉衛生検査所（食検）が行うと畜検査では、解体後検査の時に膀胱や腎臓で上の写真のような結石を発見することがあります。尿石症などによる重度の腎障害（例えば尿が排泄できない等）が見られるものは、血液検査等を実施し、高度の尿毒症と判断されれば廃棄され、食卓に出ることはありません。